

(8) 臨時災害対策本部

大きな揺れが収まった段階で、臨時災害対策本部が開設されます。しかし、本部を構成するのは、管理組合や自治会の役員、防災の会の会員ですが、地震が起こったときに、役割担当のメンバーが東の街にいない場合、または、その役割を果たすことができない状態の場合の方が多いと考えます。不在の場合は、それぞれの役割は順次繰り上げていくこととします。

とりあえず、集まった人たちで、臨時本部を立ち上げます。場所は、4号館キャノピー中央とします。それぞれの自宅の安全を確認したうえで、赤いジャンパーを着て、4号館キャノピー中央に集合します。住民ボランティアも集合してください。

臨時災害対策本部の構成

臨時本部長

管理組合理事長 又は 代行者
 (自治会会長、管理組合副理事長
 防災の会世話役、その場にいる相応しい方)

本部員

防災の会のメンバー、自治会役員
 住民ボランティア

臨時災害対策本部の役割

臨時災害対策本部は、まず、後述の災害対策本部の役割担当の方が少なくとも一人は居ると想定し、その方が中心となって、他の役割担当の方と、ボランティアとして集まった住民有志の方の一時的な担当を決めます。そして、東の街全体の状況を把握します。

緊急に行動すべきことは、

1. 敷地外への避難が必要かの判断
2. 居住者の安否確認行動の着手
3. 災害対策本部の設営の準備

となります。

災害対策本部の活動

被災後落ち着き、役割担当の方が揃い始めたら、臨時災害対策本部から、本格的な災害対策本部を立ち上げます。

災害対策本部の看板が設置される

災害対策本部のテントが設営される

本部用にある備品 (格納場所(原則):集会室)

1. ヘルメットと軍手 (地下ピット)
2. 机5 (椅子は地下ピット)
3. 白板(ホワイトボード)
4. トランシーバー
5. メガホンマイク
6. 各チームの腕章
7. 要援護居住者名簿 (理事会管理ロッカー(施錠))
8. 関係連絡先一覧(本マニュアル)
9. 文具類
10. 地図

本部には、3つのチーム(情報、支援、施設)が編成されます。その各々の役割は次のようになっています。

- 情報チームの役割： 1. 住民の安否の確認、 2. 住民への情報提供
3. 周辺地域や病院などの状態の情報収集
4. 地域防災拠点(品濃小学校)との連絡、
- 支援チームの役割： 1. 避難の誘導 2. ケガ人、病人などの救出、
3. 初期消火、 4. 部屋に閉じ込められた人の救出
- 施設チームの役割： 1. 本部テントの設営、 2. 下水施設の健全性の確認、
3. 衛生関係設備の設営と維持、 4. 非常用発電機の設置
5. 建物の被害状況の確認、
6. 水(飲料水・雑用水)の確保
7. 救援物資の受け取り、配布、 8. 集会室の一時使用準備

各住居での安全が確認され、家族の安否も確認された後、災害対策本部への参画をお願いします。

